



とまり



第10回 泊村長杯選抜少年アイスホッケー大会 (平成21年2/28~3/1)

2009
平成21年

4月

No. 572

..... 今月の主な内容

- ◆ 平成21年度泊村政執行方針
- ◆ 平成21年度教育行政執行方針
- ◆ 平成21年度予算
- ◆ 日本海ニコニコ元気村トピックス
- ◆ 暮らしの告知板
- ◆ とまり木文芸

第一回泊村議会定例会開会

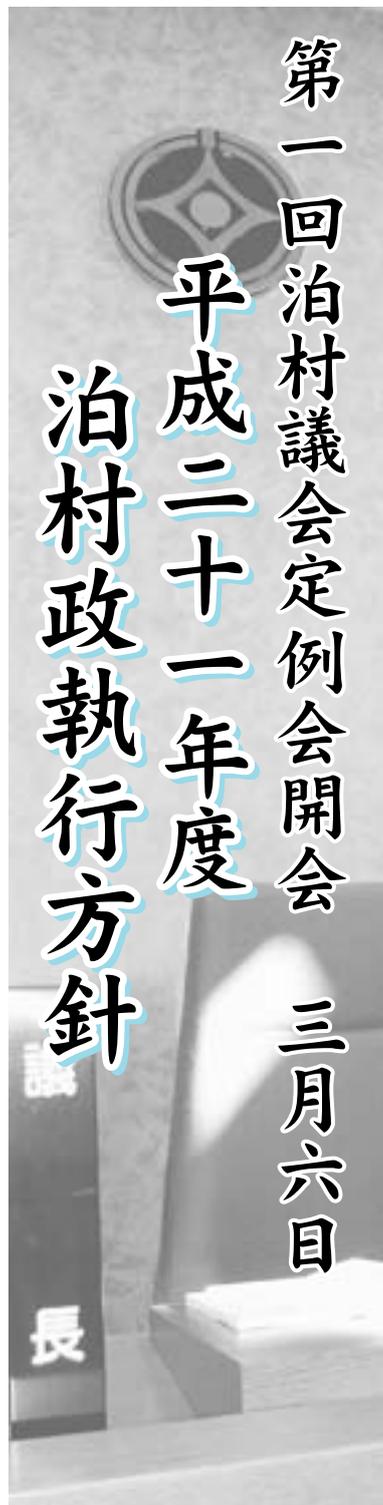
三月六日

平成二十一年度

泊村政執行方針



牧野村長



会ははじめ村民の皆さんのご支援とご協力の賜であると心から感謝を申し上げます。

今日の経済社会は、バブル崩壊からの長いトンネルから抜け出せない不透明な混迷した世相の中で、私は、山積した村政の諸問題とその執行の難しさを体験させて頂き、その厳しさと責任の重大さを痛感したところであり、この一年間は、村民の皆さんが「安全で安心した」暮らしの環境づくりを私の責務として「希望に満ちた活力あるふるさとづくり」を基本理念とし、その実現に向けて各種の事業を進めてまいりました。

私は、昨年一月の村長選挙以来、村長という重責を担わせていただき、早いもので一年を過ぎることが出来たことは、偏に、村議

躍に向けて村政を執行してまいります。

さて、平成二十二年からの国の地方分権一括法と財政抑制に沿った政策により、地方自治体は、厳しい経済情勢を迎え、一昨年から原油や資源の高騰、金利の上昇、株価の暴落等は、米国のサブプライムローン問題や大手証券リーマン・ブラザーズの破綻等の原因によるもので、わが国は、一遍してその渦に吞まれ、「百年に一度の世界不況」と言われている未曾有の経済危機にあり、その影響を受け今日を迎えているところであります。

この厳しい経済社会にある本村は、平成二十二年からの国の地方交付税という財源の援助を受けない「不交付団体」として健全財政を堅持し政策を固めて今日に至っておりますが、今年度は、特に財政

事情を見極めて第三次総合計画にありますハード事業の給食センター改築事業をはじめ特別養護老人ホーム改築事業や住宅建て替え事業等は、次年度へ繰り延べしたところではありますが、他町村にない「住民サービス」を基本とするソフト事業の福祉・医療・介護・産業・環境衛生・教育等につきましては、継続事業として予算計上をさせていただきます。

今日の厳しい財政事情を計画的に敢勇するためには、すべての村民の皆さんが危機意識を心一つにして、知恵と力と志が大切であると念願するところであり、このことが、将来の泊村が快適な暮らしのできる環境づくりを目指す「安全で安心した、いつまでも住んでいたい村づくり」の政策であると考えています。

村政を執行するにあたり創意と工夫の中で各団体や村民の皆さんとの懇談により、ご意見やアイデアを頂き、議会・村民・村の三位一体の中で、一層の「村の飛躍」に向けて努力してまいります。

以上、平成二十一年度の村政を執行するにあたり、私の所信を述べさせていただきます。

次に、私が特に重視しています事項について申し述べさせていただきます。

第一 総合計画の具現化

平成十三年に策定された泊村総合計画も今年で九年目を迎え後期事業に着手しているところでありますが、策定時に示されている「基本構想」「基本計画」に基づき、社会情勢や住民のニーズに対応しつつ、優先事業の選択や規模の見直し等を行い、地域情報化や学校給食共同調理所改築工事設計等、各分野に亘って、着実に事業の具現化を進めてきております。

今後においても、残りの後期計画の具現化に向け、より住民の生活水準の向上を目指して、議会をはじめ関係団体や多くの村民の方々

からのご意見等を頂き、村の財政計画をもとに、財政事情を見極めながら、優先事業の選択や事業規模の見直しを図り、村の将来像に向かって行政の総力を結集して、魅力と活力のある村づくりに力一杯の努力をしてまいります。

第二 地域情報化の推進

情報化社会に対応すべく、全村に亘って、下水道事業と共に構築しました地域情報化のシステムは運用を開始して以来、緊急連絡網



光ファイバーシステム

や福祉・医療・産業・教育の情報等多くの村民の方々に活用して頂いているところであります。

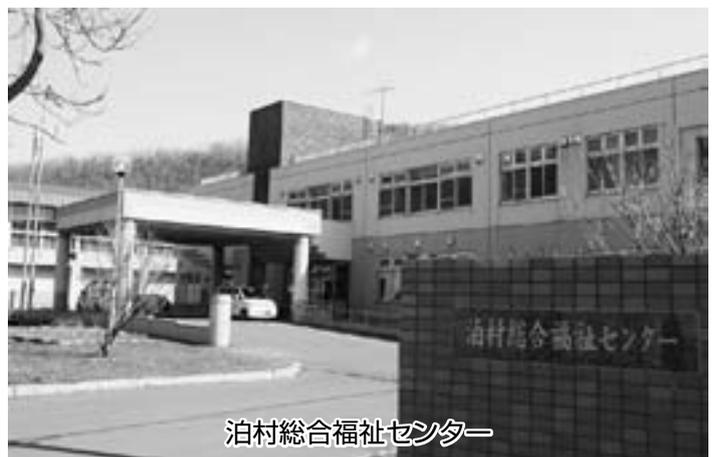
国際的に情報が氾濫し、又ネット犯罪等の防止のためにも、正しい情報の共有が求められることから、村としても、住民が情報に感わされることなく、正しくパソコンを活用していただくために、定期的な講習会等、年間を通じて実施してまいります。

更には、村民のニーズに対応し、数多くの情報を組み入れながら内容の充実を図り、多くの情報を村民の方々に提供できるよう努めてまいります。

第三 社会福祉・医療と保健衛生

保健・福祉・医療の分野におきましては、年金記録問題をはじめ、医師不足による地域医療体制崩壊の危機、食の安全が損なわれる事件の発生や、障害、介護サービスに関係する事件の多発など、経済社会の不況の中にあつて国民生活の基礎となる社会保障制度のあり方が課題となっております。

泊村では、今年度も各種助成事業を継続して実施し、住民の皆さま



泊村総合福祉センター

んの負担軽減を図り、地域の方々や関係団体、社会福祉協議会のご協力をいただきまして、生活支援を必要とする方々にきめ細やかなサービス提供ができる環境整備を図ってまいります。

美しい泊村の環境を守り、健康やかで衛生的な地域環境を保持するために、廃棄物の適正処理が重要となります。

住民の皆さんに、ご理解ご協力をいただきながら、リサイクル事業とごみの減量化を推進してまいります。

第四 定住の促進

近年、社会情勢は、少子高齢化、IT化、グローバル化などにより大きく変化しており、加えて非常に厳しい経済情勢のもと、それぞれの市町村においては、自主自立を確保しつつ個性豊かで活力に満ちたまちづくりの推進が求められております。

泊村においても、地域の特色を生かしながら、村民はもとより、だれもが住みたくなる村づくりを目指して、下水道をはじめ簡易水



ふるさと定住促進奨励事業

道や道路など生活基盤の整備や公営住宅、高齢者専用住宅や公園整備などの住環境の形成に努めるとともに、情報化社会に対応した情報通信網の整備を推進しているところである。

更に、「ふるさと定住促進条例」の各種奨励事業であります保健・医療・福祉・介護・住宅・教育等の分野においては、村独自の手厚い住民サービスを図ってきたところであります。

平成十九年度の実績では、三七、六二四千円、平成二十年度では、約三五、一二〇千円の支出見込み額となりますが、多くの方々がサービスを受け、生活支援資金となっているものと確信しております。今後におきましても、財政健全化の中で村独自の住民サービスを施策として進め、更なる住民福祉と環境整備など、さまざまな政策に取り組んでまいります。

第五 産業の振興

1 水産業

水産業を取り巻く環境は、今だかつてない燃油高騰等による経営

コストの増大で、漁業経営は大変厳しい状況に置かれ、漁業者の高齢化による後継者不足や水揚げの減少で、漁協の経営合理化と組織のスリム化を図る必要から、かねてから合併協議を進めておりました神恵内村漁業協同組合、孟漁業協同組合、泊村漁業協同組合の三漁協が、昨年十二月十日に仮調印し、本年四月一日をもって合併することになり、「古宇郡漁業協同組合」が誕生いたします。合併により健全な漁業経営体制が構築されることを期待します。新組合にと

っては、今後の漁業振興のための漁業生産基盤整備が不可欠であり、村としても、カブト分区の漁港関連施設の整備を組合とともに計画的に図り、水産物の加工・直売、都市漁村交流の展開など、本村の新しい漁村づくりを支援し、基幹産業である水産業の元気回復を図って参ります。

ニシンの復活にかける後志南部海域ニシン増殖試験事業が始まりましたが、半世紀ぶりに大量に漁獲され、試験放流による資源増大が期待されており、また、ハタハタの回帰が見られたことから、藻場造成を図る磯焼け対策実証試験



ニシン稚魚放流

事業の取り組みが注視されているなど、沿岸漁場資源回復の効果が上がることを期待します。

2 商工業

日本の経済は百年に一度の経済不況に見舞われ、泊村の商工業においても売り上げの減少や消費者の近隣大型店への流出などで、地域経済の低迷が続いております。

このような不況下において村内の消費を拡大するために、年二回のプレミアム商品券発行事業は、村民にとつて無くてはならない制度に定着したことから、夏季発行



泊村商工会

の一回分を当初予算に盛り込み、商工業の活性化を図って参ります。これまでも地元の経済に波及効果を上げていた泊原子力発電所三号機建設工事が今年十二月に完成し、運転開始後の泊原子力発電所が雇用の確保・経済的波及効果を含め、地元産業の発展に寄与することを期待するものであります。商工会を取り巻く環境は、道補助金の見直しで厳しい運営状況にあります。岩宇三商工会で広域連携による事務集約化・組織基盤の強化等で運営体制の見直しに努力されており、本村におきまして

は、引き続き必要な助成措置をしてまいります。

3 観光業

泊村は、海や山に囲まれた風光明媚な自然環境とニセコ積丹小樽海岸国定公園の指定を受けた盃温泉郷を中核とする魅力ある観光地としてPRを展開し、道内外からの観光客で賑わってきたところであります。

近年、経済の不況から、観光客入込客数の減少から日帰り・通過型観光となり宿泊客が減少し、従来型観光の見直しが急務となつて



群来まつり



とまりマラソン

いるところであります。

このような中で、本村の懸案としています堀株地区の開発は、土地対策室の設置とともに土地取得が進み、自然環境を活かした施策整備が可能となり、観光客増大の切り札として泊村観光の新拠点づくりを目指しております。茂岩地区の開発と共に、各界のご意見を取り入れ慎重に事業を図つてまいります。今日の財政悪化にあります地方自治体は、イベント事業の規模縮小を進めているところでありますが、泊村二大イベントであります「群来まつり」や「とまり

マラソン」をより一層の充実したイベントに展開させ観光客の増大を図るべく努力をしてまいります。

4 建設業

世界的な不況により、国内においても輸出減による企業収益の減や生産の減少、企業倒産など、景気は更に悪化の傾向にあります。北海道における景気も、厳しい状況にあり今後も続くものと思われれます。

このような中、特に建設業界においては、公共工事の縮減など、不況に拍車をかける非常に厳しい状況が続いております。

村としましては、一部事業を除き地元企業の繁栄を願い可能なかぎり建設工事に参加されるよう配慮して参りました。

今後とも、地元企業への発注や村発注による公営住宅の改修・修繕等、及び建設工事など、経済的波及効果が少なからず得られるよう配慮して参りたいと考えております。

しかしながら厳しい経営を余儀なくされていることは周知のとおりであります。

自らの力によつて苦境を打開す

することに殊更に期待を寄せるものでありますが、村としましても、村内企業支援育成を基本に経営基盤強化にむけ、できるかぎり諸条件等をゆるめた中で公共事業の受注機会の拡大を目指して参ります。

第六 企業誘致の推進

雇用の創出は、地域の活性化と、泊村の未来を創る人材の確保に欠かせないものです。村の企業振興促進条例を制定し、発電所関係の企業誘致に一定の成果をみたところでありますが、泊発電所三号機の関連企業の誘致促進を図る一方、地域活性化の支援制度を活用して、地域住民・団体・企業などと連携して、地域資源を活用した産業おこしで雇用の場を開拓して参ります。

第七 教育と文化

二十一世紀を切り拓く、心豊かでたくましい人づくりを目指して、いじめ等で混乱している教育環境の中にあつて、国においては、教育改革が進められているところでありますが、子ども達の豊かな人間性や社会性を養い、「自ら学び」、



アイスセンターとまりリンク



とまりカブトラインパーク



鯨御殿とまり

「自ら考え」、適切な問題を解決する能力など教育を通じて養わせ、一人ひとりのニーズに応じた地域に根ざした教育行政の推進が必要であります。

前年度において、村内外の関係者のご協力をいただき、泊中学校校舎・屋内体育館改築落成記念式典を挙行できましたことは、誠に喜ばしいことであります。

今年度は、学校給食の更なる充実を図るため、泊中学校周辺の環境整備の一環でもあります学校給食共同調理所改築工事を二十二年度にとりかかると準備を進めて

まいります。

また、教育委員会と連携を密にして、学校施設を積極的に開放するなど、学校教育と社会教育が一体となった相互交流を図ってまいります。

更に、スポーツ・文化の振興等を推進して、さらなる体力増進のために優れた立地条件にある「とまりカブトラインパーク」や「アイスセンターとまりリンク」の有効活用を今年度も一層進めてまいります。

往時を偲ぶ勇壮な「鯨御殿とまり」は、国の漁業漁村の歴史文化財百選に選ばれていることから、泊村の風土や郷土、歴史の貴重な文化遺産として、各方面から、注目されるようになってまいりましたので、宣伝をかねて、さらなる施設充実を図ってまいります。

第八 消防団と救難所

昨年は、イージス艦と漁船の衝突事故、岩手・宮城内陸部地震、八月の集中豪雨など、日本でも、さまざまな事故、災害等により多く尊い命や貴重な財産が失われた甚大な被害が発生しております。

幸にして、本村におきましては、然したる大きな災害もなく、比較的平穏な年でありました。

最近では、国際的そして国内的にも複雑多岐に亘っており、予測のつかない事故や事件、そして地球温暖化の影響と思われる異常気象に伴う自然災害がいつどこで発生しても決して不思議ではない状況であります。

そのような中であって、消防団は常に勤労のかたわら住民の生命・財産を守ると云う使命に徹せられ、地域に密着した組織として火災や各種災害から自らの生業を顧みず、時には命賭けで住民の救助に立ち向かう貴重な地域の防災の力であり、深く敬意を表するところであります。

更に婦人防火クラブにおきましては、防火に対する予防消防を重点に啓蒙・啓発活動に努められ、消防団と連携を密にして無火災実現のためにご尽力されるよう期待します。

村としても、消防団の一層の充実強化に取り組み、地域住民が「安全で安心して暮らせる」社会づくりを進めてまいります。

さて、二〇〇四年六月の消防法

改正により、すべての住宅に対し「寝室」「階段」への住宅用警報器の設置を二〇〇八年六月から二〇一一年六月一日までに義務付けられましたので、泊村の「公営住宅」・「村有住宅」・「教員住宅」には、平成二十二年度中に設置することを計画しております。

なお、泊村に住宅登録しております住民には、今年度中に、居住しております既存住宅に対し住民が一部負担とする住宅用火災警報器設置の助成制度を図ってまいります。この助成制度を執行することにあたり、消防団泊支署はじめ婦人防火クラブのご協力を願うところであります。

漁船の海難事故はじめ、マリンスポーツ等の普及により水難事故の発生が増加しており、海難事故に対する救難所員の使命も重要となっております。ひとたび事故が発生した場合には、救難所員が命を賭けて救助活動にあたっており、その勇気とご労苦に敬意を表しているところであります。

今後においても、所員一丸となり、一層、訓練に励まれ、万が一の海難事故に備えて頂くと共に、村としても助成措置を講じながら、

救難所と連携を密にして海難防止に努めてまいります。

第九 原子力発電所

全国的に原子力発電所に関わるトラブルの発生があり、地域住民から事業者に対しての不安が残る現状ではありますが、北海道電力株式会社においても昨年は、定期検査中の一号機における軽油の漏えい等の事故があり、幸いにも大事に至りませんでした。住民の安全が第一であり、安全管理・管理の指導・情報公開・防災体制を強く要請してまいります。

泊発電所三号機の工事は、好天に恵まれ、計画どおり順調に進み総合進捗率は九五・八パーセントに達しております。

泊発電所一号機の第十五回目の定期検査も八月から一月にかけて行われ、それに伴い雇用の確保や旅館、民宿、物資の調達など村内への経済波及効果があり、今年度も、一・二号機の定期検査がそれぞれ行われる予定であり、三号機の工事と併せた村内への経済的波及効果を期待するところであります。

三号機は、今年十二月の営業運

転を予定され、泊発電所一号機・二号機・三号機で道内電力の四割をまかなうことになり、エネルギー供給基地となります。

地球温暖化にある今日、泊発電所は、二酸化炭素を出さないクリーンエネルギーとして世界でも注目を浴びてきておりますが、安全管理に万全を期さなければならぬ特別な施設でもあります。

今後においても、事業者である北海道電力株式会社には、きめ細やかな情報の積極的な公開を引き続き申し入れると共に、国及び北海道に対しては、安全対策や地域振興など立地地域が抱える諸問題についても要望してまいります。



北海道電力(株)泊発電所

平成21年度 予算編成方針

回復傾向と言われた国内の経済状況は、世界の不況を受け、生産の減少や雇用の悪化等、益々厳しい状況が続いており、回復の兆しが見えない中であつて、国が進める三位一体改革による地方交付税の大幅な減少や国庫補助金等の引き下げに伴う財源不足の中、本格的な地方分権を迎え、道州制・市町村合併問題や少子高齢化社会さらには多様化・高度化する住民ニーズに応えていくために行政基盤の強化と住民自治の充実が求められるなど、地方自治を取り巻く環境は、非常に厳しい状況にあります。

このようなことから本村においても、健全財政計画のもとに、財政事情を見極めた中で、十分な精査を加え、予算を編成致しました。

歳入において、税収入や電源立地に伴う国の制度上の交付金の有効な活用をはじめ、国庫支出金や道支出金、その他収入の見込み得る財源を全て計上致しました。

歳出においては、健全財政堅持の健前から、人件費をはじめ、経常経費等を極力節減しながら、独自の施策事業を後退させることなく、重要懸案事業や前年度から継続事業等を計上し、村民に「公平で公正な」そして、効率的な行政の運営と健全財政運営のもとに予算措置を致しました。

特に、村民の長寿と健康に関わる福祉・保健・介護・医療につきまして、サービスを図り、投資的事業においては、緊急度と事業効果を考慮した予算編成を致しました。

平成21年度 予算概要

一般会計予算の規模は、三十一億千万円で、前年度対比一パーセントの増となりました。

歳入においては、固定資産税の大規模償却資産が七億四千二百万円で、前年度対比四千四百万円の増、国庫支出金では、電源立地地域対策交付金が主で、六億千三百三十万円で、前年度対比一億八千三百五十万円の減となりました。

歳出においては、投資的経費が一億七千五百万円で前年度対比一億九千万円の減となり総予算の五・六パーセントを占める事業量となりました。

主な事業は、懸案でありました、公営事業の計画的な建て替えや整備を進め、質の高い住宅環境の確保に努めるべく、公営住宅施策推進調査策定業務委託費用、照岸地区公営住宅の設計業務委託費用、地域医療の充実を図るための茅沼診療所の医療機器の購入費用、通院入浴者送迎用マイクロバス購入などの予算を計上致しました。

更には、第四次泊村総合計画策定に伴うアンケート等調査の委託費用についても予算計上致しました。

また、歳出総体としては、村づくりの総合計画の具現化、地域情報化、定住の促進、産業の振興、社会福祉・医療と保健衛生、更には教育と文化事業等、継続的性質の物件費や委託料等の予算計上し、安全で安心、そして快適な生活環境のもとに住民に密着した村づくりを主眼としての予算編成となりました。

以下、平成二十一年度の重要施策を次のとおり申し述べます。

平成21年度 重要施策

1. 原子力立地給付金加算措置事業

国の電源立地地域対策交付金制度に基づき、原子力発電施設等の立地地域の振興及び地元の福祉向上を図る目的で、毎年各家庭等に交付されております「原子力立地給付金」が、平成19年度から交付単価の減額に伴い、その減額分を村事業として給付する「原子力立地給付金加算措置事業」を実施しているところです。平成21年度も更に減額され、当初の交付額の約半分となることから、平成21年度においても、減額分の交付を継続し実施することと致しました。

事業費 原子力立地給付金加算措置事業補助金 26,521千円

2. 地域情報化機器更新事業

情報化社会に対応するため、平成15年度から光ファイバー網を活用した行政・福祉・医療・産業・教育・防災等のシステムを構築し、情報の共有と住民サービスの向上を図ってまいりましたが、機器の耐用年数が過ぎ、このままでは各種サービスに支障をきたすことから、平成21年度で更新工事を実施し、なお一層の住民サービスの向上に努めてまいります。

事業費 とまりねっと運用機器更新工事 57,680千円

3. 地上デジタル放送化設備設置事業

平成23年7月24日でテレビのアナログ放送が地上デジタル放送へと移行することに先駆け、岩内中継局には平成20年度にNHKが、平成21年度に民放がそれぞれ受信可能となることから、平成22年4月に地上デジタル放送を各戸へ送信するため、平成21年度で地上デジタル放送再送信設備を設置致します。

事業費 地上デジタル放送再送信設備増設工事 11,000千円
有線放送施設デジタル送信設備増設工事 31,223千円

4. 保健衛生事業

住民の健康増進を目指し、各種検診の充実を図り村独自の医療費助成、予防接種料金助成の事業を継続して実施致します。妊婦の定期健診料金の助成回数を増やし、安心して出産できる環境整備の推進を図ります。

事業費 医療費助成事業 22,385千円
北海道高齢者医療広域連合負担金 36,681千円
健康づくり事業 14,824千円

5. 高齢者福祉事業

高齢者や児童を虐待する事件が社会問題となっております。生活に支援や擁護を必要とする方や家族が、必要なサービスを円滑に利用できる体制を整備し、誰もが安心して生活できる環境整備とサービス内容の充実を推進してまいります。

今年度から、介護保険の保険者が後志広域連合となることから、給付等にかかる広域連合負担金を納付致します。

事業費 高齢者福祉事業費 103,022千円
障害者福祉事業費 39,828千円
後志広域連合介護保険事業負担金 31,227千円

6. 水産振興事業

経営健全化を進める新組合にとって、施設を維持し収益向上を図ることが重要であります。泊村栽培漁業センターの安定した種苗生産を図るため、取水施設の清掃及び屋根補修等の事業に助成を行い、栽培漁業の振興を図ります。また、水産物鮮度保持に欠かせない泊漁港の製氷施設補修事業及び冷蔵施設補修事業についても助成致します。

事業費 栽培センター補修事業補助金 6,788千円
製氷施設補修事業補助金 1,180千円
冷蔵施設補修事業補助金 1,628千円
後志南部海域ニシン資源造成試験調査事業補助金 385千円
船入潤滑工事 2,425千円

7. 泊中学校周辺環境整備等事業

子供達がいじめ等、厳しい教育環境の中で、「伸び伸び」とした教育活動を展開されることは、保護者のもとより村民の念願としているところであります。また教育環境の整備充実は、行政の重要課題との認識から、泊中学校の改築事業に取りかかり、前年度において外構及び旧校舎等の解体工事等の周辺整備を行ったところであります。今年度は、学校給食の充実を図るため、学校給食共同調理所の改築工事を22年度に取りかかるべく準備を進めてまいります。

事業費 泊中学校幅跳用砂場設置工事 1,474千円
泊中学校自転車置き場設置工事 747千円

国民健康保険特別会計

平成二十一年度より後志広域連合が、国民健康保険事業の運営を開始することから、泊村国民健康保険特別会計予算総額は、前年度対比七十一・九パーセント減の八千四百二十六万六千円となりました。

歳出は、主に保険給付費等見込より算定されました後志広域連合負担金八千七十八万円であり、歳入は保険税と一般会計からの繰入金三千二百五十九万五千円を見込み計上しております。

今後も医療費の適正化対策・被保険者の保健予防対策事業の推進を図りまして、後志広域連合による各種事業が円滑に実施されるよう努めてまいります。

国民宿舎特別会計

国民宿舎もいわ荘は、国民保養施設として、昭和三十九年営業を開始、平成六年には施設の老朽化により全面改修を行い村民の皆さんをはじめ、観光客等多くの方々に親しまれてまいりましたが、今日の厳しい経済環境と急速な社会情勢の変化、さらに施設設備の老朽化も伴って年々利用客の減少が著しく、厳しい経営を余儀なくされているところであります。

平成二十一年度の予算額は前年度対比五・五パーセント減の一億八千八百九十万二千円となりました。

歳入においては、運営費の一部として電源立地対策交付金二千五百万円を一般会計からの繰入金に含めて計上し、歳出においては、経営が困難な状況の中で、経常経費の節減に努めているところではありますが、施設設備の老朽化に対応するため、修繕費を増額計上しており、抜本的な大改修を含めた経営形態の見直しが必要となってきました。

職員が一丸となって、経営内容の改善に努め、健全財政と一層のサービス向上を目指してまいります。

簡易水道事業特別会計

簡易水道特別会計は、平成八年度から水道使用料の大幅な値下げをした中で、経費の節減を図りながら、住民生活の負担軽減を行ってきたところであります。

今年度は、浄水場の圧力水ポンプの改修工事と、浄水場ろ過池用ろ過砂購入費等を計上致しました。

また、水道施設を建設した昭和五十九年度からの起債償還が平成二十七年まで続くことから、その財源確保の為、今年度も一般会計からの繰入金三千三百五十一万六千円を計上致しました。

本年度予算額は、六千八百二十三万二千円で、前年度対比一・一％減の予算となりました。

老人保健特別会計

平成二十一年度老人保健特別会計は、平成十九年度以前の過年度分医療諸費として百四万七千円を見込みました。医療制度改正に伴う整理期間のため歳入は、一般会計からの繰入金百四万三千円を計上しております。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療は北海道後期高齢者医療広域連合が保険者であることから、広域連合納付金を歳出とし、歳入は七十五歳以上の被保険者の保険料と一般会計から繰入金一千八十二万六千円を計上し、特別会計として本年度予算額は、二千三百九十八万二千円で前年度対比二二・三パーセント減の予算となりました。



介護保険特別会計

平成二十一年度から保険者は後志広域連合となるため、保険事業勘定は廃止となり、今年度は従来の介護サービス事業勘定だけの特別会計となります。

介護保険事業所の指定を受けた特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、居宅支援事業所により、生活に必要なサービスの提供を行い、介護を必要とする状態となっても安心して暮らせる村づくりの推進を図ります。サービス事業収益と一般会計からの繰入金五千六百八十二万三千円を歳入として計上し、予算総額は前年度対比七・二パーセント減の二億六千五百六十六万四千円となりました。

集落排水事業特別会計

集落排水事業特別会計は、盃及び興志内地区における住民生活の環境衛生の改善を図る為、生活排水設備改修費の助成措置をしながら、加入率の向上を進めてまいりました。

その結果、現在の普及率は、九十三%となっております。

財源については、下水道使用料を大幅に引き下げていることや、下水道施設建設費の起債償還の為、今年度も一般会計からの繰入金四千六百三十万九千円を計上致しました。

本年度予算額は、六千九百八十八万三千円で、前年度対比〇・六%増の予算となりました。



公共下水道事業特別会計

公共下水道事業特別会計は、泊・茅沼・渋井・堀株地区における住民生活の環境衛生の改善を図る為、生活排水設備改修費の助成措置をしながら、下水道加入率の向上を進めてまいりました。

その結果、現在の普及率は九十二%となっております。

財源については、下水道使用料を大幅に引き下げていることから、下水道施設建設費の起債償還等の為、今年度も一般会計からの繰入金二億三千二百六十四万三千円を計上致しました。

本年度予算額は、二億四千四百二十三万四千円で、前年度対比八・五%増の予算となりました。

むすび

以上、平成二十一年度の村政執行に対する私の所信と基本的方針を申し述べました。

平成十二年度の地方分権一括法による地方自治体に対する自主・自立を求める国の施策に対し、地域の特性を活かし、地域に根ざした施策をすることが、強く求められているところであります。

泊村の更なる「繁栄と飛躍」を希い、「泊村にいつまでも住んでいたい」と云われる、誇りの持てる「安全で安心」そして、「希望に満ちた活力あるふるさとづくり」を目指し、総合計画を重視しながら村づくりを村民の皆さんと協働で作り上げていかなければと決意を新たにしているところであります。

村議会議員の皆様

村民の皆さん

ご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

平成二十一年度 教育行政執行方針



平成二十一年度第一回泊村議会定例会の開会にあたり、所管する教育行政の主要な執行方針について申し上げます。

教育行政の推進にあたり、村議会の皆様をはじめ、村理事者の深いご理解と、村民各位の暖かいご支援・ご協力を賜り、懸案の諸問題が逐次解決されております事を心から感謝申し上げます。

国際的な経済不況のありを受け、国内においても大変厳しい状況にあり、先行きの読めない今日であり、私達を取り巻く環境も大きな転換期を迎えようとしております。

学校にあつては、子どもたちの

「生きる力」の育成を基本的なねらいとし、学校・家庭・地域がそれぞれの持つ教育的機能を発揮しながら相互連携・協力し取組んで行くとともに、いじめ・青少年犯罪の増加、更には学力低下の指摘など教育課題への対応が求められており、学校教育では、「確かな学力」「豊かな心」「健やかでたくましい心身」の育成を柱に次代を担う子どもたちの成長を図ってまいります。

社会教育においては、多様な住民ニーズを的確に把握し、学習機会の拡充や、環境づくりに取組んでまいります。

又、学社融合にも力を入れ、生きがいとゆとりを持てる社会づくりに努めてまいります。

今日的課題を的確にとらえながら、活力ある生涯学習社会の実現に向けて、関係機関、村民の皆様の一層のご理解とご協力をいただきながら諸施策を進めてまいります。

1 泊村教育目標の推進

教育行政を執行するにあたり、基本となりますのは「泊村教育目標」でありますので、その具現化を積極的に進めてまいります。

これは、日々成長する本村の子どもたちに大きな願いと期待をかけたものでありまして、教育委員会はこの教育目標に沿って最善の努力をいたします。

2 学校教育の推進

学校教育は、生涯学習の基盤となる「生きる力」の育成であり、基礎・基本の確実な定着とあわせて、実践力の養成が大切であります。

本村の小中学校は、少人数の学級編成で子どもたち一人ひとりに目が届く環境にありますので、個々の能力・適正に応じた、きめ細やかな指導の工夫に努め、次代を担う子どもたちの育成を図ってまいります。

今日、学校が家庭や地域と一体となつて、子どもたちの健やかな

成長を支援し、地域に開かれた信頼に込める学校づくりが求められており、それには教師の強い情熱と児童生徒への深い愛情や相互の信頼関係が大切であり、学校が自らの教育活動を積極的に情報提供と説明責任を果たし、保護者や地域住民の期待に応える学校づくりを進めることが大切であります。

学校評価の役割は、学校の機能が、どの程度果たされているかを明らかにし、より質の高い教育諸活動への改善を図ることにあり、引き続き実施してまいります。

また、小学校三・四年生用社会科副読本「とまり」については、昨年、検討委員会において改訂作業を終了しておりますので、本年度においては新たな副読本により教育の推進を図ってまいります。

情報化社会が進展する中において、本村においては光ファイバー網が整備され大変恵まれた環境にあり、インターネットを活用した高度化・多様化する学習活動を展開するとともに、情報モラルやマナーなど正しい使用方法の推進を図り、情報教育の質的向上に努めてまいります。

学校図書や教材・教具の整備を

はじめ教育機器の充実に努め、教育活動の環境整備に努めてまいります。

家庭における教育に係る費用負担は、教育活動の高度化等により年々増加傾向にあり、今年度も、小学校入学児童祝品、小中学校修学旅行費用や中学校への遠距離通学費の助成についても継続して実施してまいります。

地域住民への「学校だより」の配布についても継続して実施してまいります。

○教育課程について

学習指導要領に基づき、学校や地域の特性を生かした教育課程の編成・実施に努めるとともに、基礎・基本の確実な定着を促し、児童生徒自らが学び、考え、判断、応用する指導内容や方法の改善・充実に努め、学ぶ意欲や態度を育む教育活動を推進してまいります。

今年度においても、文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査を継続し、その結果をもとに本村における学力の現状を把握し、学習指導の改善に取り組んでまいりますとともに、近年子どもの体力が低下している状況に

鑑み国が全国的な子供の体力の状況を把握、分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に実施されます。全国体力、運動能力、運動習慣調査を小学校五年生・中学校二年生を対象に本年度から実施してまいります。

○国際理解教育について

国際化が急激に進展する今日、子どもたち一人ひとりが豊かな人間性を兼ね備え、国際社会をたくましく生きる人材の育成を図ることが大切であります。

外国語指導助手について、今年度も中学校を主体に配置し、中学校での語学力やコミュニケーション能力の向上をはじめ、今年度から始まる小学校高学年の英語教育への派遣、更には、社会教育事業への活用を積極的に図り、本村における国際理解教育の推進に努めてまいります。

○特別支援教育について

心身に障害のある児童の適正な就学を図るため、障害の程度や能力、適性に応じた適切な指導を図

られるよう教職員の共通理解の下、関係機関と連携を深め、可能性を追求した組織的支援体制の充実に努めてまいります。

○生徒指導について

生徒指導の意義は、教職員による児童生徒個々への愛情に満ちた触れあいであり、自らを律する心や、他人を思いやる心、生命や人格を尊重する心の育成など豊かな人間性を培い、公共心や規範意識の醸成に努めてまいります。

また、現状に満足することなく、校内におけるいじめや不登校など問題行動の未然防止、早期発見に努め迅速・適切な対応について関係機関との連携を密にし、生徒の指導の充実に努めてまいります。

○健康・安全指導

学校保健については、健康診断による早期疾病予防に努めるとともに、社会環境や生活様式の変化により、子どもたちの生活習慣に变化の兆しが見られ、子どもの心身の健康に影響を及ぼしており、健康教育の充実に努めてまいります。

また、子どもが犠牲となる痛ま

しい事件・事故が数多く発生していることから、関係機関の協力を得て、避難訓練や防犯教室を実施するとともに、学校の危機管理体制の日常的な点検・管理の充実に努めてまいります。

○教職員の資質・能力の向上について

学校教育の成果は、児童生徒への直接の担い手である教職員の資質能力に負うところが大変大きく、教職員一人ひとりが、専門職としての使命と責任を強く認識し、更なる意識改革の高揚はもとより、専門性や人間性を高めながら、指導方法の創意工夫・改善など、校内研修体制の充実に努め、各種研修会への積極的な参加を奨励するとともに支援してまいります。

また、個々の学校職員の努力や成果を評価し、一層意欲を高めることにより、資質能力の向上及び学校の活性化を図り、その成果が子どもたちに還元されることをねらいに「学校職員評価制度」についても引き続き取り組んでまいります。

施設整備事業

- 小中学校庁用備品及び教材備品購入事業
- 小中学校図書購入事業
- 小学校グラウンド整備工事
- 中学校幅跳用砂場設置工事
- 中学校自転車置き場設置工事

3 社会教育について

村民一人ひとりが生きがいとゆとりを持って、充実した生活を送るために、自由に学習機会を選択して学び続けることは、きわめて大きいものがあります。

生活水準の向上、余暇時間の増加、急激に進む少子高齢化社会や高度情報化の進展、さらには環境重視型社会への移行など激しく変化する社会にあつて、価値観も多様化し、自主自立に向けた意識も変わり、今後ますます高まる学習意欲に対応した生涯学習の推進に努めてまいります。

地域のもつ豊かな自然や文化等の特色を生かし、多様化・高度化する住民ニーズを的確に捉え、学習やスポーツ・文化に親しむ機会の拡充・学習環境の整備充実と学習機能の活性化を図ってまいります。

す。

特に、子どもたちが自主的・自発的に生活体験や自然体験等の社会参加活動を展開することができるよう、学校・家庭・地域社会が一体となった人材育成や協力体制づくりに努めてまいります。

① 青少年教育について

青少年を取り巻く社会環境が複雑多岐になる中、次代を担う心豊かに、たくましく創造性に満ちあふれた青少年を育成するために、学校・家庭・地域社会が連携を密にし、支援してまいります。

また、生きる力を身に付け、他人を思いやる心や、命の大切さを学び、これからの社会を生き抜くことが出来るよう、社会体験やスポーツ・文化体験など各種体験活動や奉仕活動への参加を促進し、青少年活動の活性化に努めてまいります。

「青少年カナルチャー教室」や「ふるさと体験学習」も引き続き実施するとともに、新たな取り組みとして、子どもたちの活動拠点を設け、勉強やスポーツ文化活動等の取組を推進する「放課後子ども教室」事業を実施してまいります。

小学校六年生を対象とした「子供親善大使派遣事業」についても継続してまいります。

姉妹町である伊方町や周辺での歴史・文化などにふれ、同世代との親善交流を図りながら、「絵付け」や「みかん狩り」など、各種体験活動を通して次代の担い手として、夢と希望を育てたいと願っております。

また、小中学校両校が協力校として認証を受けているユネスコ支援活動についても引続き支援してまいります。

② 成人教育について

生きがいを求め、自ら学び、心豊かに暮らすために、自ら学び社会参加する意欲の高揚と魅力ある学習機会の提供や環境づくりに努め、すでに開設されている陶芸教室や英会話教室をはじめ、各種教室・講座についても内容の充実を図り、より多くの方々に楽しい学習の場の提供と、自主的活動の助長を図ってまいります。

また、高齢者教育については、長寿社会を楽しく生き生きと過すためには、まず健康であることが望まれます。

健康で生きがいある生活を支援するため、社会参加や学習機会を提供し、高齢者の学習ニーズに応えた「寿大学」の内容の充実を図るとともに、より一層多様化・高度化する学習機会の提供に努め参加を奨励してまいります。

③ スポーツの普及・振興について

村民一人ひとりが健康で心豊かな日々を送り、明日への希望を保持していくためには、健康の保持増進が不可欠であり、気軽にスポーツに親しみ、活力ある生活を送ることができるよう、スポーツ活動の機会の拡充と指導者の養成に努め生涯スポーツの普及に努めてまいります。

また、これらの活動を助長するため、体育協会をはじめ関係団体と連携を密にし、スポーツの普及・促進を図り各種大会への参加・派遣についても支援してまいります。

アイスセンター「とまりンク」や「とまりカブトラインパーク」についても、維持管理運営の充実を図り、利用者が快適で安全に活動できる環境づくりに努め、施設の有効活用と地域経済の活性化に向け、積極的に各種大会や誘致活

動に努めてまいります。

アイスセンタートレーニング室へのインストラクターについても引き続き配置し、機器の有効活用と利用促進を図っていくとともに、防護マットを整備し、ショートトラック競技を積極的に誘致し、利用者の増を図ってまいります。

昨年完成した泊中学校体育館の利用についても規則を設け、有効活用を図ってまいります。

また、スポーツ少年団活動についても、保護者をはじめ学校や地域の理解のもと、熱心な指導と活発な活動に取組まれ、子どもたちの発育に大きく貢献されているところであります。

施設整備事業

○アイスセンター清掃業務委託事業

○アイスセンター冷凍機保守点検業務委託事業

○アイスセンターリンクスラブ塗装工事

○アイスセンター防護マット購入事業

○カプトラインパーク維持管理業務委託事業

④文化教育について

歴史の中で育まれ、守り伝えられてきた文化や歴史的遺産を保持・伝承し、その活用を図っていくことは、歴史や文化等の成り立ちを理解する上で欠くことのできない貴重な財産であり、これからの地域文化の向上・発展の基礎をなすものであります。

村指定文化財である「鯨御殿とまり」や「泊稻荷神社神殿」は、往時の歴史的建造物として貴重な財産であり、村の伝統文化を承継しながら村民の共有財産であるとの認識にたち、引き続き適切な管理運営に努め、資料収集・保存・活用に努めてまいります。

生涯教育活動の拠点であります泊村公民館は、各種文化活動・学習の場として幅広く利用されています。

本年度も、北海道巡回小劇場公演や教育講演会を開催し、文化教育を推進してまいります。

図書室の運営については、読書は人格形成上大きな役割を果すものであり、読書活動を積極的に推進するため、図書の整備充実を図り、誰でも気軽に利用できる親し

みやすい図書室づくりを目指してまいります。

施設整備事業

○公民館非常灯改修工事

○図書購入代

緑や花の豊かな美しい街づくりは、村民の願いであり、本年度も役場前国道沿いの花壇をボランティアグループ「とまりフラワーロードの会」の活動を全面的に支援するとともに、地域の皆さんのご支援ご協力をいただきながら「花いっぱい運動」を展開し、美しい景観づくりに努めてまいります。

4 学校給食共同調理所事業

昭和五十五年、学校給食共同調理所を設置し、児童・生徒へ食の安全・安心を前提とし、栄養バランスを考慮したメニューなど、楽しく食することができる学校給食の提供に努めてまいりましたが、施設の老朽化が著しく、改築に向けて実施設計も既に終了しておりますので、来年度の改築に向けて、什器等の選定準備を取り進めてまいります。

また、給食費についても食材・

燃料等の値上げにより大変厳しい運営が想定されますが、現行どおり据え置いてまいります。

まとめ

以上、平成二十一年度の教育行政執行方針について申し述べさせて頂きましたが、泊村教育委員会といたしましては、村民の皆様への付託に応えられますよう、本村教育・スポーツ・文化の振興に最善の努力をいたす所存でございますので、皆さんの深いご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。



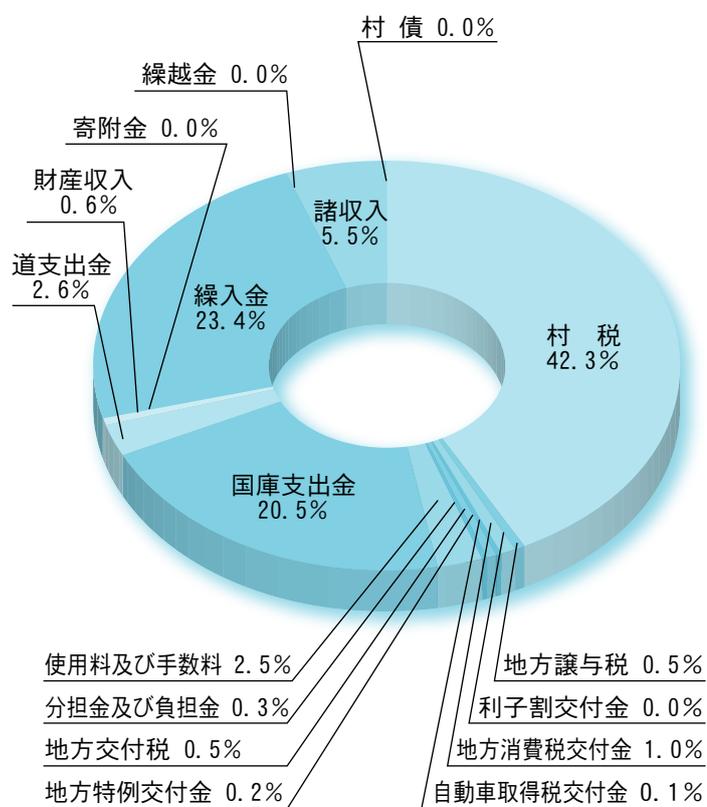
円ですスタート づくり」の実現に!!

第1回泊村議会定例会で可決されました平成21年度当初予算を紹介します。

平成21年度の一般会計と特別会計を併せた予算総額は40億5,621万円7千円で前年度当初予算に比べ9.4%減となりました。

31億1,000万円

歳入



(単位：千円)

項目	予算額	構成比	増減	前年度対比
村税	1,315,437	42.3	7,031	0.5
地方譲与税	14,600	0.5	△ 304	△ 2.0
利子割交付金	1,200	0.0	△ 107	△ 8.2
地方消費税交付金	30,000	1.0	325	1.1
自動車取得税交付金	4,000	0.1	△ 751	△ 15.8
地方特例交付金	6,700	0.2	241	3.7
地方交付税	15,000	0.5	14,999	1499900.0
分担金及び負担金	8,006	0.3	△ 2	0.0
使用料及び手数料	77,235	2.5	△ 1,447	△ 1.8
国庫支出金	638,247	20.5	△178,889	△ 21.9
道支出金	82,110	2.6	8,498	11.5
財産収入	17,814	0.6	△ 17,503	△ 49.6
寄附金	2	0.0	0	0.0
繰入金	726,520	23.4	285,347	64.7
繰越金	1	0.0	0	0.0
諸収入	173,128	5.5	△ 87,438	△ 33.6
村債	0	0.0	0	0.0
歳入合計	3,110,000	100.0	30,000	1.0

9億4,621万円

(単位：千円)

会計別	本年度予算額	前年度予算額	増減	前年度対比
介護保険特別会計	265,664	467,857	△ 202,193	△ 43.2
（保険事業勘定）	(0)	(181,435)	(△ 181,435)	(△ 100.0)
（サービス事業勘定）	(265,664)	(286,422)	(△ 20,758)	(△ 7.2)
集落排水事業特別会計	69,883	69,483	400	0.6
公共下水道事業特別会計	244,234	225,180	19,054	8.5
後期高齢者医療特別会計	23,982	30,876	△ 6,894	△ 22.3

平成21年度

予算総額 40億5,621万

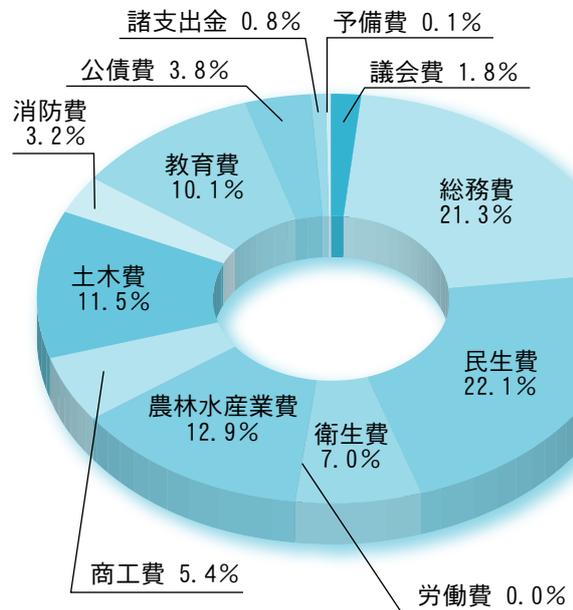
「希望に満ちた活力ある村」

一般会計予算

歳出

(単位：千円)

項目	予算額	構成比	増減	前年度対比
議会費	57,240	1.8	△ 1,201	△ 2.1
総務費	662,132	21.3	103,234	18.5
民生費	688,484	22.1	60,055	9.6
衛生費	217,019	7.0	△ 78,586	△26.6
労働費	172	0.0	△ 18	△ 9.5
農林水産業費	402,215	12.9	226,668	129.1
商工費	167,234	5.4	15,600	10.3
土木費	358,055	11.5	33,952	10.5
消防費	98,176	3.2	△ 18,231	△15.7
教育費	312,667	10.1	△279,153	△47.2
公債費	118,919	3.8	△ 29,769	△20.0
諸支出金	23,404	0.8	0	0.0
予備費	4,283	0.1	△ 2,551	△37.3
歳出合計	3,110,000	100.0	30,000	1.0



特別会計予算

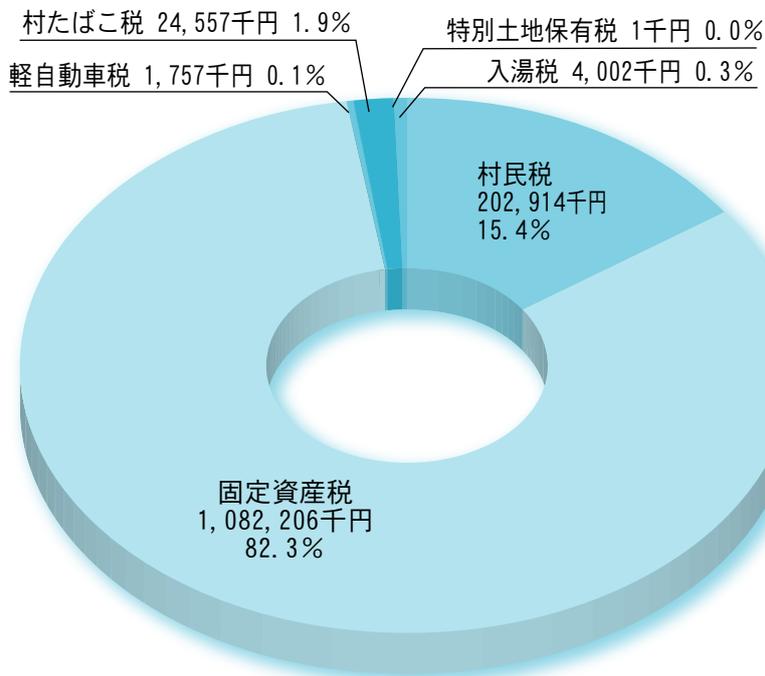
(単位：千円)

会計別	本年度予算額	前年度予算額	増減	前年度対比
国民健康保険特別会計	84,266	299,900	△215,634	△ 71.9
国民宿舎特別会計	188,902	199,900	△ 10,998	△ 5.5
簡易水道事業特別会計	68,232	68,995	△ 763	△ 1.1
老人保健特別会計	1,054	36,449	△ 35,395	△ 97.1

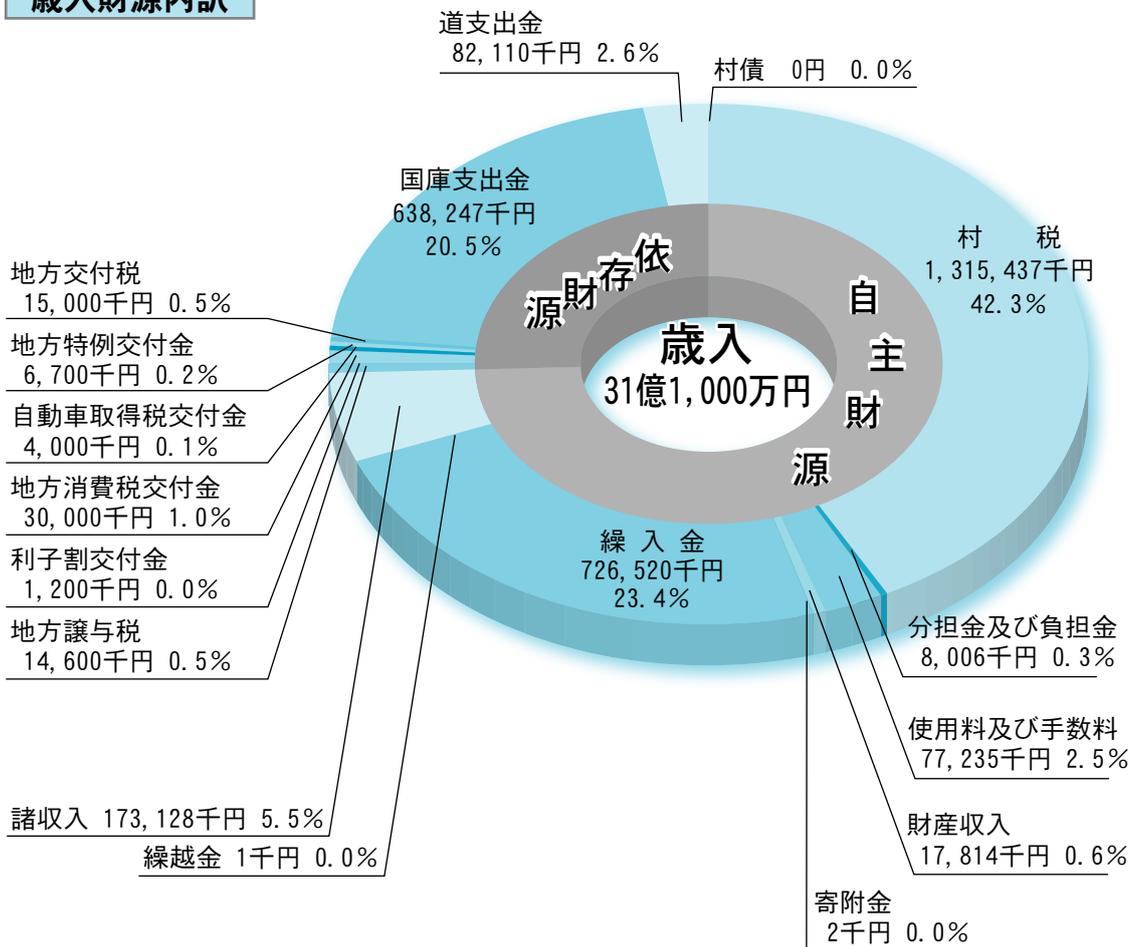
予算概要

村税予算額内訳

1,315,437千円

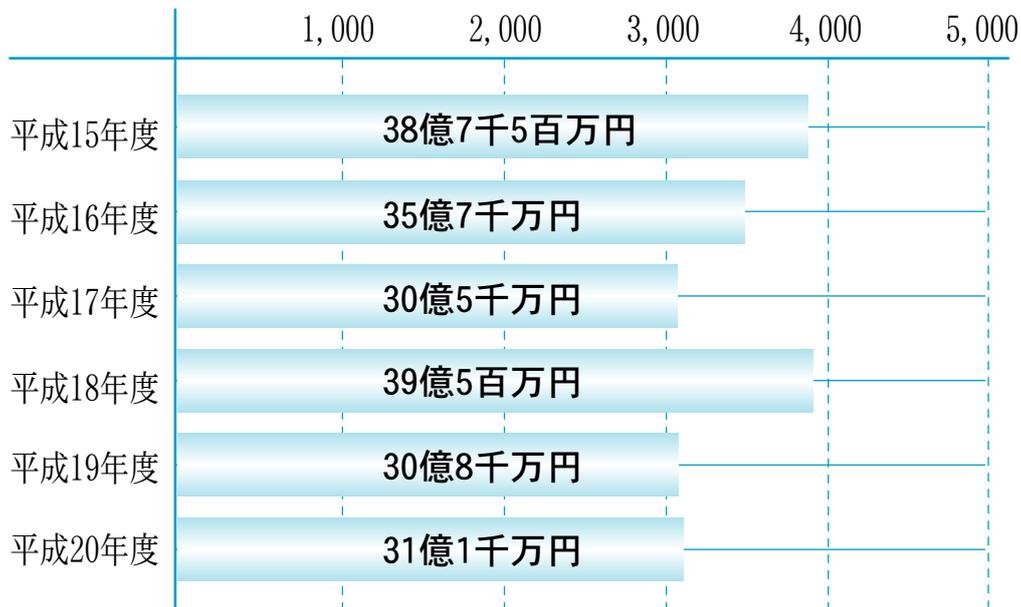


歳入財源内訳

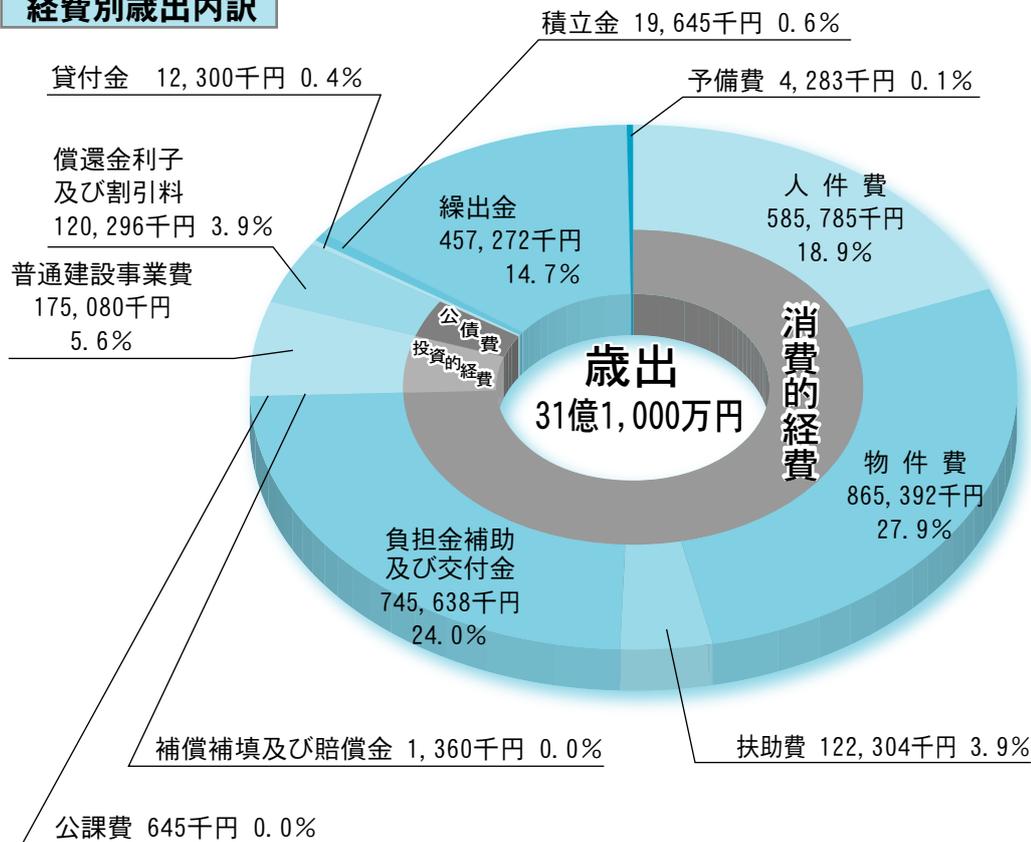


一般会計

当初予算額の推移 単位(百万円)



経費別歳出内訳



住宅新築等奨励金の支給制限について

村では、住みよい村づくりを図るため「ふるさと定住促進条例」により、他の町村には見られない手厚い助成を行っているところです。

しかし、この条例ができて約10年たったことから、村民が平等に助成を受けられるよう、現在、見直しを行っております。

その一つとして、住宅新築等奨励金の支給制限を行うことと致しましたのでお知らせ致します。ご理解、ご協力をお願い致します。

住宅新築等奨励金 〈改正前〉 奨励金の支給申請回数は、無制限。



〈改正後〉 奨励金の支給申請回数は、1人につき1回限りとする。

※平成21年4月1日から適用

地上デジタル放送への準備について

テレビ放送が平成23年7月24日でアナログ放送から地上デジタル放送へ移行することに先駆け、村では平成21年度予算によりデジタル放送再送信設備を設置することとし、平成22年4月1日より運用致します。平成23年7月24日まではアナログ放送も双方利用できるように致しますが、村民の皆様には地上デジタル放送への準備をお願い致します。

(((地デジを見るにはどうするの?)))

デジタルテレビに替える



地上デジタル放送対応テレビ

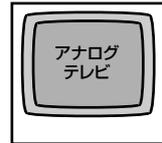
- 大きさ 13型～50型程度(50型以上もあります)
- 価格 約4万円～60万円程度

地上デジタル放送対応のテレビは、画面のサイズや性能、機能など様々です。

お近くの電器店・家電量販店などにご相談の上、お宅に合ったテレビをお求めください。

アナログテレビを使い続ける

デジタルチューナー、または
デジタルチューナー内蔵録画機器
を取り付ける



デジタルチューナー

- 価格 約1万円～10万円程度

デジタルチューナー内蔵録画機器

- 価格 約5万円～30万円程度

※デジタルチューナーによって機能が異なります。

※デジタル機能を制限した廉価タイプもあります。

※お使いの受信機によって画質などは異なります。

※参考価格は平成20年1月現在の価格です。

地上デジタルチューナー搭載機器
ロゴマーク

総務省 おたすねください地デジのこと
☎:0570-07-0101

地デジコールセンターナビダイヤル・平日9:00～21:00、土・日・祝日9:00～18:00
*IP電話など、ナビダイヤルがつかない方は ☎:03-4334-1111



Dpa お調べくださいデジタル放送のこと
<http://www.dpa.or.jp/>

社団法人デジタル放送推進協会

悪質商法にご注意ください。

テレビの調査会社やアンテナ工事業者を装って、地上デジタル放送を受信するための費用を不正に請求したり、工事の勧誘を行う例が起きています。地上デジタル放送に関する誤った情報や不十分な情報に基づいて関連商品・サービスを売りつける悪質商法にご注意下さい。

2/24

岩宇地区3町村自衛隊 新入隊予定者激励会

今年の春、自衛隊に入隊する新自衛官の岩宇地区の合同入隊激励会が泊村公民館大ホールで行われました。岩宇地区の3町村から、入隊予定者7(1名欠席)名(泊村 森本 燎輝君)とその保護者、自衛隊関係者約50名が出席。3町村長や先輩隊員から激励の言葉を受けると、入隊予定者たちは入隊の決意を新たにしていました。



2/24

泊村自衛官募集相談員に 安藤 徳久氏が就任

自衛官募集相談員委嘱式が、泊村公民館会議室で行われました。今回2期目の委嘱を受けられたのは、安藤 徳久さん。任期は2年間で、引き続き自衛官募集に関する相談などに対応していただきます。



2/28

3/1

第10回 泊村長杯選抜少年アイスホッケー大会

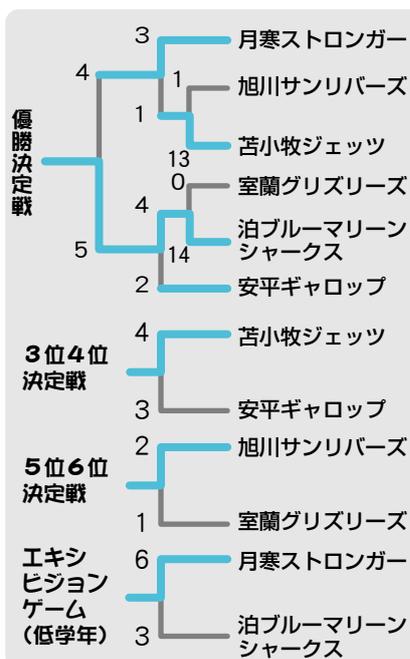
泊村と(財)札幌アイスホッケー連盟の主催による、第10回泊村長杯選抜少年アイスホッケー大会が2月28日(土)・3月1日(日)の2日間、泊村アイスセンター「とまりリンク」で開催されました。

6チームが参加して行われた今大会は、初戦・第2回戦とも力のある攻撃力、守備力で勝利し、続いて進んだ決勝戦でも先制を許しましたが、チームワークで逆転勝利。見事優勝を果たしました。

泊ブルーマリーンシャークスは第6回大会で初優勝し、第8回・第9回大会優勝、今大会3連覇する快挙を達成し、合計4回目の優勝となりました。

優勝おめでとうございます!!

- 優勝 泊ブルーマリーンシャークス
- 準優勝 月寒ストロンガー
- 3位 苫小牧ジェッツ
- 4位 安平ギャロップ
- 5位 旭川サンリバーズ
- 6位 室蘭グリズリーズ



3/3

とまり保育所ひなまつり

とまり保育所で、ひなまつりが開かれました。遊戯室に飾られたひな人形を前に、おめかしをした女の子たちは髪にピンクのお花をつけて楽しく「桃の節句」を祝いました。先生からひなまつりの由来などについて話を聞いた後、全員でひなまつりの歌を歌ったり、昼食にちらしずしを食べたりして、楽しいひなまつりになりました。



第34回 泊中学校卒業証書授与式

新校舎で最初となる、第34回卒業証書授与式が厳かに執り行われました。式では、一人ひとり担任の白濱先生から名前を読み上げられ、山口校長先生から卒業証書が手渡されました。校長先生は、卒業生にはなむけの言葉を贈り、「一期一会の精神を大事に、この先色々なことに挑戦して下さい。卒業生の皆さんには勇気が十分に備わっています。」と式辞を述べられました。来賓祝辞、在校生送辞のあと、卒業生一人ひとり、先生や両親への感謝の言葉、新校舎の思い出、後輩への温かいメッセージなど、心を込めた答辞で会場は感動に包まれました。最後に「旅立ちの日に」を全員で合唱。卒業生15名（男子5名、女子10名）がそれぞれの路に向かってはばたいていきました。

卒業生名簿

加藤 万季さん	濱田 祐輔くん
金子 リサさん	福森 珠実さん
川合 祐平くん	松田 由樹さん
北端 梨乃さん	森 千紗さん
小林 葵さん	山下絵里菜さん
戸田康太郎くん	山下紗由香さん
長尾 賢くん	吉田ヒトミさん
西川 一輝くん	



第13回 泊小学校卒業証書授与式

卒業式では、卒業生一人ひとりが体育館中央の壇上で、出口校長先生から卒業証書を手渡しされ、卒業生と在校生が向かい合って思い出や別れの言葉を述べ合う「よびかけ」、校歌斉唱などが行われました。

この日、小学校で卒業を迎えたのは男子12名、女子8名の計20名。皆さんどことなくこれまでよりしっかりした顔つきに見えました。4月からは中学生となり、部活に勉強に忙しくなりますが、がんばってください。

卒業生名簿

相川 初美さん
池高 慧悟くん
伊名野 航くん
岩田 悠くん
江良 明真くん
大平 昂也くん
加藤 健吾くん
釜谷 佳吾くん
越後 希波さん
沓澤 楓さん
小林 淳史くん
島谷 瑞季さん
高橋 梨紗さん
高林 柊くん
武田 和さん
寺井 亮太くん
三浦 昌哉くん
山本 智也くん
吉田 茉由さん
吉田 琴子さん



3/18

泊村スポーツ・文化賞表彰式



泊村スポーツ・文化表彰式が泊村公民館において行われました。

式典では村内の学生や村内の協会等に参加している方々のうち、スポーツ活動及び文化活動の各分野において優秀な成績を上げられた個人36人と4団体に対し、各分野ごとにスポーツ賞、スポーツ奨励賞、スポーツ特別賞、文化奨励賞の表彰状が村長から贈られました。

3/25

平成20年度 泊村寿大学修了式

泊村公民館で寿大学修了式が行われました。全課程を無事に修了された方々を代表して、各地域の代表者が、学長の山本教育長より修了証書を受け取りました。

その後、元、北海道テレビ放送（HTB）解説委員の小野塚 勝さんをお招きして、「このところの日本」と題した講演に移りました。

ニュースキャスターとして泊村に来村し、堀株地区で4日間民家を借りて過ごし、スケソ鍋をご馳走になった思い出などを交えた講演に、寿大学生の皆さんは、熱心に聞き入っていました。

寿大学生の皆さんは、新年度も元気に学習することを誓い合っていました。



3/27

第39回 とまり保育所修了式

お父さんやお母さん、先生や来賓が見守る中、ちょっぴり緊張した様子の子供たち。名前を呼ばれると、みんな元気な声でお返事して、修了証書を嬉しそうに受け取っていました。小学校に上がる希望を胸に、楽しい思い出がたくさん残る保育所を巣立ちました。



NHK「北海道釣り紀行」で泊村が紹介されます。

～春の積丹半島・泊村でホッケ釣り～
NHK総合 4月12日（日）
午前8:00～8:25（放送予定）



泊 発 電 所 の 状 況

■泊発電所1号機(定格電気出力 57万9千キロワット)

- ・ 定格熱出力一定で運転中

■泊発電所2号機(定格電気出力 57万9千キロワット)

- ・ 定格熱出力一定で運転中

■泊発電所3号機

- ・ 建設工事は順調に進んでいます



泊発電所3号機建設工事進ちょく状況(平成21年2月20日現在)
 ~泊発電所3号機建設工事の総合進ちょく率は、96.6%に達しています~



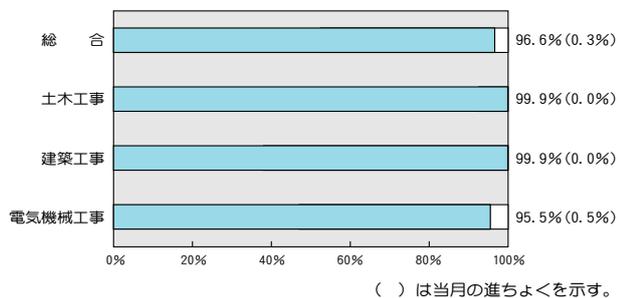
主要工程



許認可

電源開発調整審議会上程	平成12年10月20日
原子炉設置変更許可申請	平成12年11月15日
公有水面埋立免許取得	平成13年4月16日
公有水面埋立竣功許可	平成15年6月16日
原子炉設置変更許可	平成15年7月2日
電気工作物変更届出	平成15年7月2日
着工(第1回工事計画認可)	平成15年11月21日
第8回工事計画認可(全工事計画認可取得)	平成18年4月28日

工事進ちょく率



工事概況

- 土木工事
 - ・ 冬期休止中

- 建築工事
 - ・ 各所仕上工事

- 総合試験
 - ・ 1次系設備
燃料装荷、起動試験
 - ・ 2次系設備
タービン・発電機 起動試験
 - ・ 電気設備
起動試験



原子炉格納容器内
燃料装荷実施状況▶



原子炉格納容器内
実施本部による燃料装荷の確認状況



定点撮影位置



①展望台より全景



②2号機タービン建屋屋上より



③3c道路より

※P24は平成21年度広報・安全等対策交付金事業により作成しております。

平成21年度 第1回警察官採用試験の案内

受付期間 4月1日(水)
～4月15日(水)

第1次試験 5月10日(日)

実施する試験区分及び

採用予定

・男性A区分(大学等卒)
北海道、埼玉、千葉、警
視庁、神奈川、静岡が共
同で実施

・女性A区分(大学等卒) 北海道のみ

・男性B区分(大学卒等以外) 北海道のみ



受験資格

受験区分	学 歴	年 齢
A区分	学校教育法による大学(短期大学を除く)等を卒業した者(平成22年3月卒業見込者を含む)	昭和52年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた者
B区分	A区分以外の者(学校教育法による高等学校に在学中の者を除く)	

(注1) 高度専門士の称号を取得又は平成22年3月末日までに取得見込みの者は、A区分での受験になります。

(注2) A区分に該当する者は、B区分の試験を受けることができません。

お問い合わせ先

★詳しいことは、最寄りの交番・駐在所または岩内警察署までお問い合わせ下さい。

岩内警察署 TEL 0135-62-0110

採用センター TEL 0120-860-314

道警ホームページ

<http://www.police.pref.hokkaido.jp/>

陸海空自衛官募集



■陸海空幹部候補生を募集します。

受 付 平成21年4月1日(水)～5月12日(火)

応募資格 22歳以上26歳未満

試 験 日 一次5月16日(土) 一部17日(日)

■第1回陸海空一般曹候補生を募集します。

受 付 平成21年4月1日(水)～5月12日(火)

応募資格 18歳以上27歳未満

試 験 日 一次5月23日(土)

問い合わせ

- ・倶知安地域事務所
倶知安町南3条東1丁目 TEL 0136-23-3540
- ・自衛官募集相談員 TEL 75-2300 (安藤)

くらしの告知板

役場 ☎75～2021

確定申告の内容が 間違っていたとき

確定申告書を提出した後で計算誤りや申告漏れなど申告内容に誤りがあることに気付いたり、うっかり確定申告書の提出を忘れていた方は、もう一度確認をしてください。

もう一度確認をしてください。

税額を多く申告していることに気付いたときは、「更正の請求書」を提出して正しい税額への訂正を求められます。

税額を少なく申告したことに気付いたときは、「修正申告書」を提出して正しい税額に修正してください。

また、確定申告を提出しなければならないのに提出を忘れていたときは、速やかに確定申告書を提出してください。

問い合わせ

・倶知安税務署 個人課税部門

TEL 0136-22-1192

受講生を募集します

・【フリー門講座】(午前10:00～13:00)

5月8日～5月25日 毎週月曜日開催

定員6名(先着順) 受講料:8,000円

・【ローマ字・キーボード講座】(午後14:00～16:00)

5月8日～5月25日 毎週月曜日開催

定員6名(先着順) 受講料:8,000円

・【セキュリティ対策講座】(夜間18:30～20:30)

5月8日～5月25日 毎週月曜日開催

定員6名(先着順) 受講料:8,000円

・【Word2007中級講座】(午前10:00～12:00)

5月8日～5月29日 毎週水・金曜日開催

定員10名(先着順) 受講料:12,000円

・【Word2007初級講座】(午後14:00～16:00)

5月8日～5月29日 毎週水・金曜日開催

定員10名(先着順) 受講料:12,000円

・【Word3級試験対策講座】(夜間18:30～20:30)

5月8日～5月29日 毎週水・金曜日開催

定員10名(先着順) 受講料:12,000円

※内容や、日程については変更になることもあります。

・【ホームヘルパー2級講座】

6月6日(土)～28日(日) 毎週土・日曜日開催

午前9:00～午後4:00(昼休み1時間)

募集締切 平成21年5月22日(金)

問い合わせ

・岩内地域人材開発センター

岩内町字東山8-16 TEL 0135-62-2183

山菜採りに伴う事故防止

慣れた山でも、山菜採りに無我夢中になると「隠れた危険」があります。次のことに心掛けて、山菜採りを楽しんでください。



山菜採りの心構え5か条

1. 家族等に行き先と帰宅時間を知らせましょう

「自分だけの秘密の場所だから」では、万一の場合、捜索が遅れることとなります。行き先、帰宅時間等を必ず家族等に知らせてから出かけましょう。

2. 単独での入山を避け、二人以上で声を掛け合い位置を確認する

万が一迷ったら、一人では救助を求めることもできません。二人以上で入り、たえず声を掛け合いお互いの位置を確認しあうことが大切です。

3. 服装は目立つ色にしましょう

白や黄色、蛍光色の服装がよく目立ち、万一の場合には、救助隊やヘリコプターから発見されやすくなります。

4. 携帯電話や非常食、熊よけのための鈴やラジオ等を携帯しましょう

鈴や笛、ラジオ等の音の出るものは、熊除けや自分の位置を知らせるのに役立ちます。アメ玉やチョコレート、ビスケット等は非常食になります。また、非常の場合の連絡用として、携帯電話を持ちましょう。

5. 迷ったときには無理をせず、落ち着いて行動しましょう

迷ったときは、むやみに歩き回らず、体力の消耗を抑え、落ち着いて捜索隊を待つなど慎重な行動が必要です。万が一の場合、家族等から捜索願が出されて捜索隊が救助に向かいますので、発見されやすい視界の開けた場所、野宿に適した場所を早めに探すことが大切です。

ヒグマに注意

○山には入る前には、地元の人に聞くなど、熊の出没情報に気をつけましょう。

○「熊の出没注意」の看板のある場所には入らないようにしましょう。

○ヒグマに人の存在を知らせるため、鈴やラジオで音を立てるなどの工夫をしましょう。

○ヒグマの足跡や糞を見たときは、すぐ引き返しましょう。

平成21年度社会保険事務 相談所開設日程

■平成21年4月

俱知安町 後志労働福祉センター
8日(水)・9日(木)

岩内町 岩内地方文化センター
22日(水)・23日(木)

開設時間 両会場とも、1日目13時～17時
2日目9時～14時

2009ほっかいどう緑の募金運動

募金目標 5,000万円(北海道)

(H20=4,722万円、H19=4,335万円)

今年も下記の日程で緑の募金活動を行います。「緑の募金」は身近な地域や国内外へと森づくりの輪を広げ、さまざまな「森づくり・人づくり」活動に活かされます。「緑の募金」がより多くの皆様に理解され、国民的な運動として発展できますよう、ご協力をお願いいたします。

募金運動	H21年度運動期間	羽根着用期間
緑の羽根	4/25～5/31	同 左

春の募金運動

※本道の植樹シーズンに合わせた募金運動期間の設定
→運動の始期を植樹シーズンの到来に合わせ4月下旬に繰り下げます(H20までは4/1)

問い合わせ

・泊村緑化推進委員会事務局(泊村役場産業課)
TEL 0135-75-2101

『かかりつけ薬局』を 持ちましょう

■その1 「かかりつけ薬局」ってどんな薬局のこと？
◎患者さんは、どの病院・診療所(医院)・歯科診療所で処方せんを受け取った場合でも自由に薬局を選ぶことができます。自宅の近くやいつも行く商店街の薬局など、あなたがいつも利用する薬局が決まっているとすれば、その薬局のことを「かかりつけ薬局」といいます。どこの病院・診療所(医院)・歯科診療所にかかっても、同じ薬局で調剤を受けることが大切です。

あなたが一番気軽に相談でき、信頼できる薬局「かかりつけ薬局」を決めましょう。

◎患者さんの薬の服用歴や体質(副作用歴やアレルギー歴)などを記録し、あなたが病院・診療所(医院)・歯科診療所で発行された処方せんの薬を受け取る時に、その記録と照合しながら調剤しますので、複数の病院・診療所(医院)・歯科診療所から薬がでている場合などの薬の重複や飲み合わせのチェックを簡単に行うことができます。

もし、あなたにとって服用すべきでない薬がでている場合などは薬剤師が医師(又歯科医師)と相談し、薬の変更や投薬取り消しなどを行います。

■「おくすり手帳」を持ちましょう。(お薬手帳は、薬局でもらえます。)

おくすり手帳には自分の飲んでいる薬等が記録され、重複投与や飲み合わせによる副作用を未然に防止でき、また、ふだん持ち歩くことで、自分の使っている薬を正確に伝えることができます。

■わからないことについては、岩内保健所(電話番号 0135-62-1537)に電話等でお気軽にお尋ねください。

不燃（粗大含む） ごみ受入 停止日



■受入停止日 4月27日(月)■

問い合わせ先
岩内地方衛生組合じん芥処理場 TEL 0135-62-6251

4月の相談日程

札幌弁護士会しりべし弁護士相談センター

4月

8日(水)15日(水)
22日(水)28日(火)



- ・事前予約制
- ・予約受付 平日午前10時～午後4時
- ・岩内町高台84-3(佐藤精肉店となり)
- ・☎ 0135-62-8373

4月及び ゴールデンウィーク 救急当番医

診療時間
9時～17時まで



4月5日(日) 石山内科クリニック ☎62-3223

12日(日) 前田医院 ☎62-1293

19日(日) 東山クリニック ☎62-7700

26日(日) 岩内協会病院 ☎62-1021

29日(水) 岩内大浜医院 ☎61-2081
昭和の日

5月3日(日) 千葉外科医院 ☎62-0981
憲法記念日

4日(月) 発足診療所 ☎74-3009
みどりの日

5日(火) 前田診療所 ☎73-2211
こどもの日

6日(水) 万代クリニック ☎61-2133
振替休日

「長期使用製品安全点検制度」 が4月1日からスタートします

製品が古くなると部品等が劣化（経年劣化）し、火災や死亡事故を起こすおそれがあります。

「長期使用製品安全点検制度」では、メーカーに所有者登録することで、適切な時期に点検通知が届きますので、点検を受けましょう。

下記の対象商品（特定保守製品）を購入した場合は、メーカーに所有者登録をしましょう。

対象製品(特定保守製品)



平成21年4月からは、
現在お使いの製品*も
点検可能ですので、
詳しくはメーカーに
お尋ね下さい。
*平成21年4月1日より前に
製造・輸入された製品

問い合わせ

- ・経済産業省 商務流通グループ 製品安全課
TEL 03-3501-4707 (直通)
- ・北海道経済産業局 産業部消費経済課 製品安全室
TEL 011-709-1792 (直通)

戸籍の窓

2月20日～3月19日

いつまでもお幸せに

【婚姻】

(茅沼) 高橋 弘行さん 堀株 菊地めぐみさん 堀株

いじめいぶくをお祈りします

【死亡】

(孟) 梅原トシエさん 88才 2月20日死亡
(孟) 八田 敏子さん 77才 2月28日死亡

よろしくおねがいします

【転入】

(茅沼) 藤谷 佑太さん 島牧村

【転出】

岩内町 1人 倶知安町 1人
小樽市 1人 札幌市 2人
愛知県 1人

【出生】

先月号の「出生」で地域に間違いがありましたので、謹んで訂正し、心よりお詫び申し上げます。
(滝の潤) 高橋 玲樹くん
1月27日出生 父 直樹さん

投稿

老人ホーム暮らし 照船

ホームの食事でいも、南瓜料理をおいしくいただき、戦中戦後の食糧難時代を思い出し、今の生活に毎日感謝している。雪とけて、春山の山菜採りを思い出し、地元の山をなつかしむ。ホームの女性は新聞愛読者が多く、然も、三面より一、二面を見ていて、政治、経済にくわしい。

とまり木文芸

俳句

崖を見る小さな緑胡葱か 泊海山
残雪に色を添えるはコジヤクかな 泊海山

短歌 (354)

近江谷乃婦 われの衣紫色に片寄るを母に重ねて春を装う
吉田智恵子 花だよりニユース見るは春うらら足音遠き北国の春

赤坂明希子

我が里の鍊御殿のお室は苦勞と知恵と歴史が光る
立花 孝子 雛寿司をかこみてわが姉妹童心にかへりてひととき華ぎ
小林ヒロ子 高校に合格したる曾孫よりの電話の声の大人びており
小林 諒子 学ならず八十路越ゆれど道はるか時よ止まれとさげびたきかな
乃 婦 わが動き緩慢なれどリフォームの服など縫いて今日を暮しぬ
沙 羅 腰痛に老婆の如き腰かがめ歩む姿をウインドーに見る
のぞみ 町中で知ったる顔の高校生目は会釈しつ放電つづけ
無名女 もづく酔も義母の味には近づけず磯の香りに助けられるや
芳 扇 食卓に心つくして並べても夫は好みの品より食べぬ
さと女 「よいしよ」とバスに乗りくる男性におもはず「クスリ」と笑みいる私

人のらごき

世帯	994戸	前月比	-1戸
人口	2,004人		-7人
男	927人		±0人
女	1,077人		-7人

地区別の世帯と人口

	世帯	人口	前月比
泊地区	323戸 ±0	702人	-2
盃地区	184戸 -1	385人	-5
茅沼地区	190戸 ±0	404人	±0
老人ホーム	116戸 +1	116人	+1
渋井地区	97戸 -1	217人	-1
堀株地区	84戸 ±0	180人	±0
計	994戸 -1	2,004人	-7

[21. 2. 28 現在 住民基本台帳]

交通安全

通年
展開

デイ・ライト
(昼間点灯)
運動実施中!



再生紙を使用しています

全国統一防火標語 火のしまつ 君がしなくて 誰がする